

ワイドウォール工法

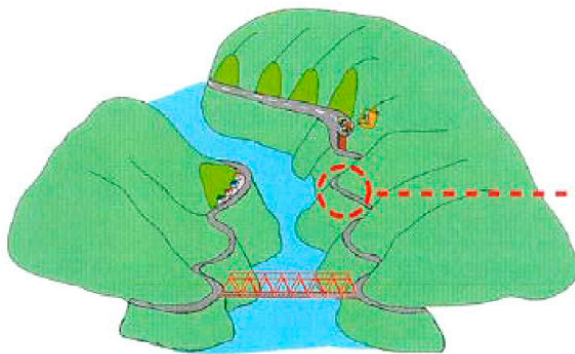
山間部の林道や1車線の道路に退避所等を設けることにより、部分的に2車線化と同じ効果を得る工法です。大型ブロック積工法の一つで、車両の退避所だけでなく歩道の新設も可能です。

従来の擁壁工法や補強土壁工法に比べ、掘削土量を大幅に減らすことができ地形によっては擁壁高を低くする事が出来る経済的な工法です。

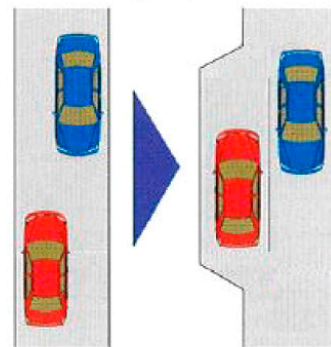
1.5 車線の道路整備とは？

今までの2車線にこだわらず、今後も交通量の多くの伸びが想定できない山間部などの道路において、1車線に待避所等を設けて部分的に2車線と同じ効果を得る道路整備を行い経費削減を図るもので、現在各都道府県において検討と実行がなされています。

道路の1.5車線化等に最適

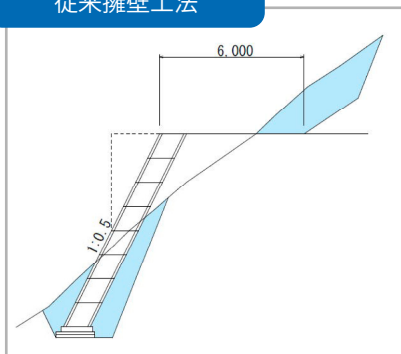


待避所設置

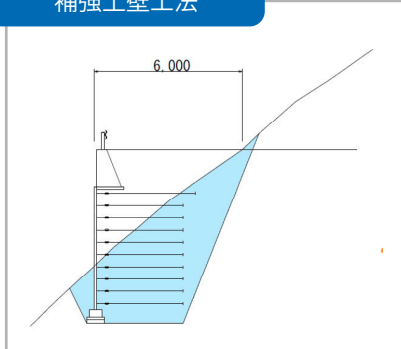


従来工法と道路の施工断面比較

従来擁壁工法



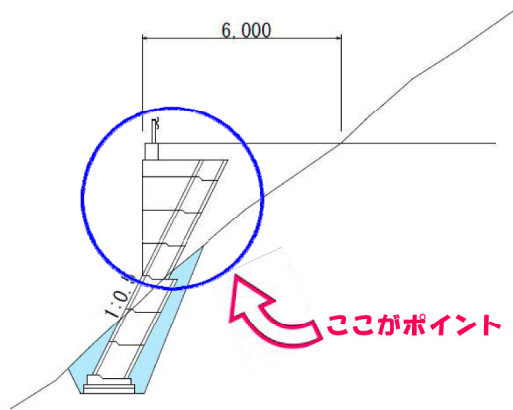
補強土壁工法



ワイドウォール工法

掘削が最小限となり経済的です。地形により、擁壁高を低くできます。

他の工法に比べ掘削土量が大幅に少なく済みます



**大幅なコスト削減が可能！
大変経済的です！**

